

3年 かけ算のきまり ①	組	名前	
--------------	---	----	--

1 0のかけ算の学習 (p11~p12)

ゆうやさんが点とりゲームをしたら、下の表のようになりました。  
とく点を調べましょう。

ゆうやさんのとく点

入ったところ	入った数 (こ)	とく点 (点)
10点	3	
5点	2	10
3点	0	
0点	5	

1 5点のところのとく点をもとめる式と答えを書きましょう。

入ったところ × 入った数 = とく点  
 (式) 5 ×  =

2 10点のところ、3点のところのとく点をもとめる式と答えを書きましょう

10点・・・(式) 10 ×  =   
 3点・・・(式) 3 ×  =

3 0点のところのとく点をもとめる式と答えを表しましょう。

※5点, 10点, 3点のときと同じように考えて  
 (式) 0 ×  =

ポイント：0のかけ算の答えは0になります。

- 問題 ① 1 × 0 =                      ② 7 × 0 =                      ③ 10 × 0 =  
 ④ 0 × 6 =                      ⑤ 0 × 9 =                      ⑥ 0 × 0 =

1 かけ算のきまりの学習 (p13~p14)

7×6の答えの見方を考えましょう。

1 7のだんの九九の答えの並び方を調べましょう。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7	7	14	21	28	35		49	56	63

□ ふえる
□ へる

**ポイント** : かけ算では、**かける数が1ふえると**、  
 答えは  **数** だけ大きくなる。  
 (れい)  $7 \times 4 = 7 \times 3 + 7$

2 7×6と答えが同じになる九九を見つけましょう。

$7 \times 6 = \square \times \square$

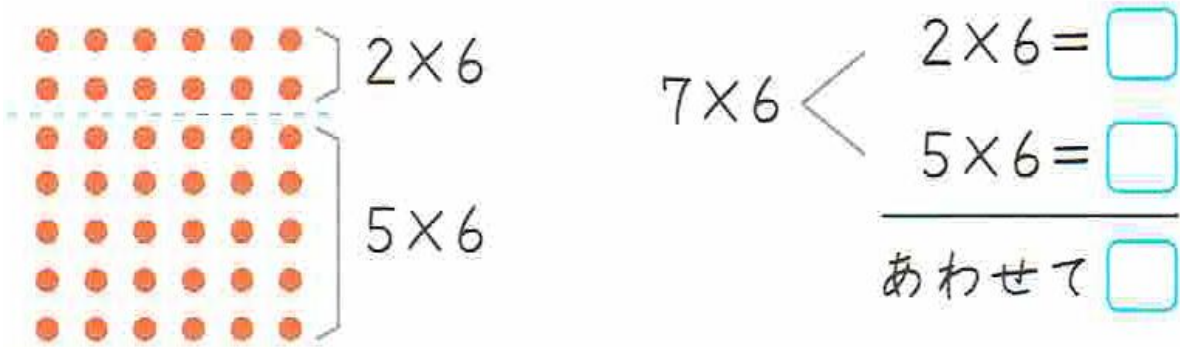
**ポイント** : かけ算では、**かける数と  数** を  
 入れかえても、答えは  になる。  
 このことを、 **きまり** といいます。  
 (れい)  $7 \times 2 = 2 \times 7$      $7 \times 0 = 0 \times 7$

## 1 かけ算のきまりの学習 (p15~p16)

7×6の答えのもとめ方を、下の図を使って考えましょう。

1 かけられる数「7」を分けて、考えましょう。

① 7を2と5に分けて



② 逆にかける数の「6」を2と4に分けて

$$\begin{array}{r}
 7 \times 6 \left\{ \begin{array}{l} \square \times 2 = \square \\ \square \times 4 = \square \end{array} \right. \\
 \hline
 \text{あわせて} \quad \square
 \end{array}$$

**ポイント**：かけ算では、かけられる数やかける数を分けて計算しても

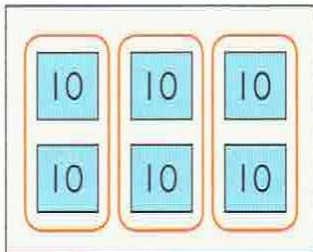
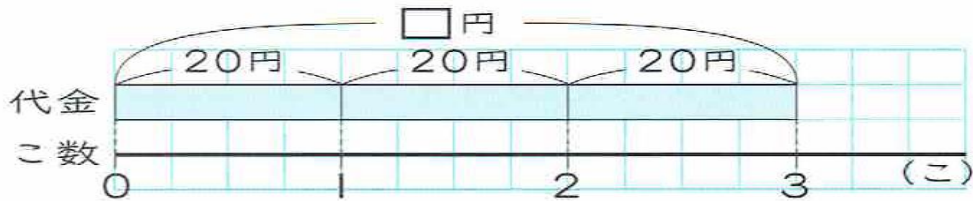
答えは  になる。

このことを  きまり といいます。

## 1 何十、何百のかけ算の学習 (p17)

1こ 20円のおめを3こ買います。 代金は何円になりますか。

1 下のテープ図を見ながら計算のしかたを考えましょう。



$$2 \times 3 = 6$$

$$20 \times 3 = \square$$

式

答え

2  $200 \times 3$  の計算のしかたを考えましょう。

$$2 \times 3 = 6$$

$$200 \times 3 = \square$$

**ポイント** : 何十、何百のかけ算では、10のまとまりや

100のまとまりで考えるとかんたんに計算ができる。

## 1 3つの数のかけ算の学習 (p18)

1こ50円のドーナツが、1箱に4こずつ入っています。  
2箱では、何円になりますか。

1 計算のしかたを考えましょう。

① 1箱分の代金を求めてから

$$\boxed{\quad} \times \boxed{\quad} \times 2 = \boxed{\quad}$$

② ドーナツの数を求めてから

$$50 \times (\boxed{\quad} \times \boxed{\quad}) = \boxed{\quad}$$

答え

**ポイント**：かけ算では、前からじゅんにかけても、あとの2つを先にかけても、答えは同じになる。  
このことを  $\boxed{\quad}$  きまり といいます。

2 九九を使って、あなうめかけ算をしよう。

①  $6 \times \boxed{\quad} = 24$

②  $\boxed{\quad} \times 3 = 15$

③  $7 \times \boxed{\quad} = 56$

④  $\boxed{\quad} \times 9 = 54$

## 1 0のかけ算の学習 (p11~p12)

ゆうやさんが点とりゲームをしたら、下の表のようになりました。  
とく点を調べましょう。

ゆうやさんのとく点

入ったところ	入った数 (こ)	とく点 (点)
10点	3	
5点	2	10
3点	0	
0点	5	

1 5点のところのとく点をもとめる式と答えを書きましょう。

$$\boxed{\text{入ったところ}} \times \boxed{\text{入った数}} = \boxed{\text{とく点}}$$

$$\text{(式)} \quad 5 \times \boxed{2} = \boxed{10}$$

2 10点のところ、3点のところのとく点をもとめる式と答えを書きましょう

$$10 \text{ 点} \cdots \text{(式)} \quad 10 \times \boxed{3} = \boxed{30}$$

$$3 \text{ 点} \cdots \text{(式)} \quad 3 \times \boxed{0} = \boxed{0}$$

3 0点のところのとく点をもとめる式と答えを表しましょう。

※5点、10点、3点のときと同じように考えて

$$\text{(式)} \quad 0 \times \boxed{5} = \boxed{0}$$

**ポイント：0のかけ算の答えは0になります。**

問題 ①  $1 \times 0 = 0$       ②  $7 \times 0 = 0$       ③  $10 \times 0 = 0$

④  $0 \times 6 = 0$       ⑤  $0 \times 9 = 0$       ⑥  $0 \times 0 = 0$

## 1 かけ算のきまりの学習 (p13~p14)

7×6の答えの見方を考えましょう。

## 1 7のだんの九九の答えの並び方を調べましょう。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7	7	14	21	28	35		49	56	63

7 ふえる 7 へる

**ポイント** : かけ算では、かける数が1ふえると、

答えは かけられる数 だけ大きくなる。

(れい)  $7 \times 4 = 7 \times 3 + 7$

## 2 7×6と答えが同じになる九九を見つけましょう。

$$7 \times 6 = \boxed{6} \times \boxed{7}$$

**ポイント** : かけ算では、かける数と かけられる数 を

入れかえても、答えは 同じ になる。

このことを、交かんの **きまり** といいます。

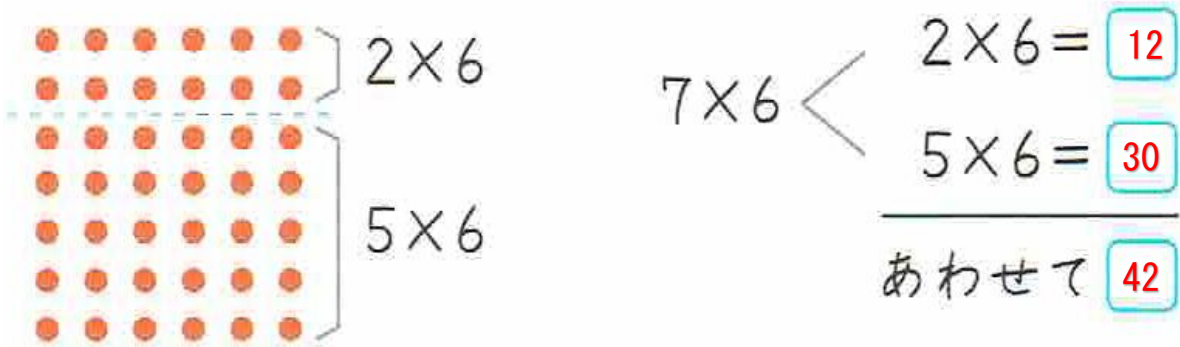
(れい)  $7 \times 2 = 2 \times 7$      $7 \times 0 = 0 \times 7$

## 1 かけ算のきまりの学習 (p15~p16)

7×6の答えのもとめ方を、下の図を使って考えましょう。

1 かけられる数「7」を分けて、考えましょう。

7を2と5に分けて



③ 逆にかける数の「6」を2と4に分けて

$$\begin{array}{r}
 7 \times 6 \left\{ \begin{array}{l} 7 \times 2 = 14 \\ 7 \times 4 = 28 \end{array} \right. \\
 \hline
 \text{あわせて} \quad 42
 \end{array}$$

**ポイント**：かけ算では、かけられる数やかける数を分けて計算しても

答えは **同じ** になる。

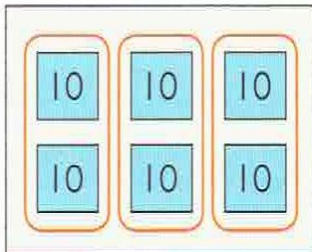
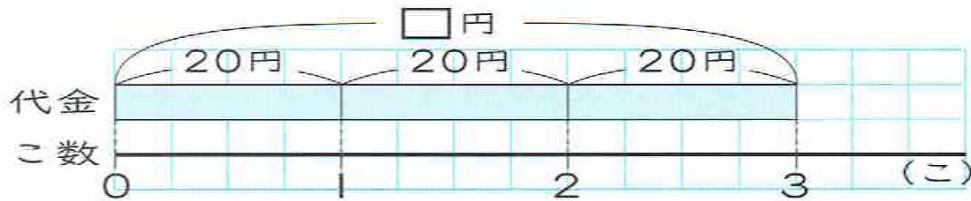
このことを **ぶんばい分配のきまり** といいます。



## 1 何十、何百のかけ算の学習 (p17)

1こ 20円のおもちゃを3こ買います。 代金は何円になりますか。

1 下のテープ図を見ながら計算のしかたを考えましょう。



$$2 \times 3 = 6$$

$$20 \times 3 = 60$$

式  $20 \times 3 = 60$

答え 60円

2  $200 \times 3$  の計算のしかたを考えましょう。

$$2 \times 3 = 6$$

$$200 \times 3 = 600$$

**ポイント** : 何十、何百のかけ算では、10のまとまりや

100のまとまりで考えるとかんたんに計算ができる。

## 1 3つの数のかけ算の学習 (p18)

1こ50円のドーナツが、1はこに4こずつ入っています。  
2箱では、何円になりますか。

1 計算のしかたを考えましょう。

③ 1箱分の代金を求めてから

$$50 \times 4 \quad 2 = \quad 400$$

④ ドーナツの数を求めてから

$$50 \times (4 \times 2) = 400$$

答え 400円

**ポイント**：かけ算では、前からじゅんにかけても、あとの2つを  
先にかけても、答えは同じになる。

このことを けつごう **結合の** **きまり** といいます。

2 九九を使って、あなうめかけ算をしよう。

④  $6 \times \boxed{4} = 24$

②  $\boxed{5} \times 3 = 15$

⑤  $7 \times \boxed{8} = 56$

④  $\boxed{6} \times 9 = 54$